

ようじえんだより 2020年度4月号

十日町幼稚園 〒948-0083 十日町市本町西1丁目253番地
Tel:025-752-2068 Fax:025-752-2189

4月主題『はじめまして』

主題聖句：あなたがたは神に愛されている子どもです。

エフェソの信徒への手紙5章1節

- ☆ 0～2歳児：神さまからいのちをいただいた存在として大切にされる。おだやかでやさしい言葉をかけられ満たされて過ごす。自分らしさを受け入れられ、安心して過ごす。新しい環境や友だちに出会う。保育者の姿や言葉を通して神さまと出会う。
- ☆ 3～5歳児：祈りやさんびかを通して、目には見えない神さまを知る。自分の好きな場所や好きなことをみつける。どんな自分でも受け入れられていると感じ安心する。春の自然にふれながら遊ぶ。新しい環境に興味をもって関わる。

はじめまして

2020年度、十日町幼稚園は新たに4人のお友だちを迎えて出発しました。はじめて新しい環境に入る時、それは子どもも大人も大変緊張し、心細くなる時です。そして昨年度以前から在園しているお子さんも、新しいクラスで新しい先生と過ごし始める新年度は大変緊張するものです。私自身を振り返ってみても、十日町にやって来た4年前の春は、とても緊張し、そして新鮮な気持ちで過ごしていたことを思い出します。誰も知り合いがない町で新たに生活を始めることは、不安と緊張感に包まれた日々でした。しかしその緊張感もいつしか忘れ、新しい出会いによって喜びが与えられたことに感謝しています。

出発の時を覚える

聖書にモーセという人がエジプトを出発し、荒れ野を通過して、約束の地へ向かう時、その出発する日を記念したとあります。ゴールを記念したわけではありません。出発の時、就職の時、進学の時も、新しい出発の時というのは、ものすごく緊張します。自分が独りぼっちになっ

たような気がします。自分が小さくされる時です。でもその小さくされて、ただ祈るしかない、その時を「覚えておきなさい」と聖書は言います。傲慢になって躓きやすい人間を戒める言葉だと思います。

赤ちゃん返りには優しく包み込む言葉を

そして親として肝心なことは、気持ちが不安になっている子どもを叱咤するのではなく、むしろ「大丈夫だよ」「お迎えに行くからね」という優しい言葉と共に抱きしめる態度と気持ちです。保育園入園の時だけでなく、小学校入学時にもみられますが、子どもは新しい環境に入っていく時、泣きっぽくなったり不安定になったりします。これは「赤ちゃん返り」と呼ばれる一種の退行現象ですが、この時に“塩を塗り込むような”厳しい言葉や態度は子どもを傷つけます。「赤ちゃん返り」がずっと続くことはありません。楽しい園生活がすぐそこにあることを信じて、温かく優しく送り出してください。私たちも温かく優しく大切なお子さんを迎え入れま

す。
園長：久保田愛策

年間主題『こころが満たされる』

主題聖句：喜びと平和とであなたがたを満たす
新約聖書 ローマの信徒への手紙15章13節